



第107号 令和7年11月

編集発行 庄内教育事務所 指導課  
〒997-1301  
東田川郡三川町大字横山字袖東7番1号  
TEL0235-68-1982/FAX0235-66-3015

## 教科担任マイスター アドバンス研修

重点校「酒田市立富士見小学校」「酒田市立十坂小学校」を中心に、管内10校のマイスター校が、ねらいである「教科担任制の推進による教科指導力向上の視点を踏まえた授業づくりやICTを効果的に活用するための指導の充実」について研修を進めています。これまでの取り組みの様子を紹介します。

### 算数チーム(富士見小・大山小・横山小・八幡小・浜中小)

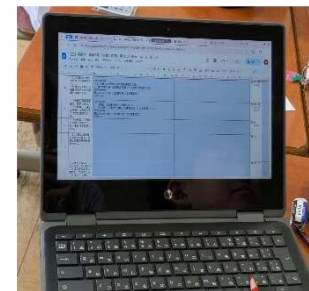
算数チームでは「メタ認知(何が分かるか、分からないか)をもとにした『学びのプラン』を活用した授業づくり」を研修課題として取り組んでいます。

6月11日2回目のアドバンス研修では、富士見小学校で5年算数(単元名:倍数と約数)の授業について研修を行いました。



#### 【学びのプラン(タブレット:Googleドキュメント)をクラウドで共有】

- ➡めあて・ふりかえりの蓄積  
「何を学ぶのか」ねらいを共有し、「何が分かったか/分からなかったか」など、自分の学びの自覚が主体的な学びへつながります。
- ➡タブレット入力の個人差への対応  
技術面は、ある程度のトレーニングも必要。系統的な土台作りを!



### 外国語チーム(十坂小・上郷小・湯野浜小・藤島小・新堀小)

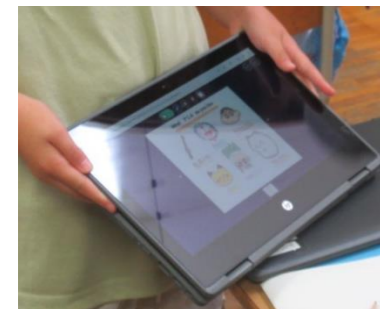
外国語チームでは「児童のかかわり合いと教師のファシリテート」を研修課題として取り組んでいます。

9月28日2回目のアドバンス研修では、十坂小学校で3年外国語活動(Unit5 What do you like?)の授業について研修を行いました。



#### 【3年1組の人気の○○ランキング】

- ➡外国語のコミュニケーションをとおして新たな発見  
普段あえて尋ねないこと、みんなが知りたいことなどが、外国語学習では効果的な題材になります。
- ➡自己決定の場の充実で自己有用感を高める  
コミュニケーションのテーマやツールなどを自分で選んだり工夫したりして、主体的な学びへ!



### 「教科担任マイスター推進事業」公開授業研究会

- ◆12月3日 酒田市立富士見小学校(5年算数) 授業者 石川 祐一 教諭
- ◆12月15日 酒田市立十坂小学校(6年外国語) 授業者 佐藤 元宣 教諭

※詳細につきましては、各開催日の1か月前頃に各学校へ送付いたします。一緒に授業づくりについて考えてみませんか?

## 始発期の学びを 自らの実践に

初任者研修、教職2年次・3年次フォローアップ研修では、先生方の実践的指導力を養い、高めること等を目的とし、対話を中心とした授業研究及び体験活動研修、各講座等を実施してきました。これから実施する研修もありますが、これまでの研修を通しての学びを振り返りから抜粋して紹介します。

### 初任者研修

- ・それぞれの先生方の悩みや頑張りをお聞きして刺激になった。
- ・教育公務員であるという自覚を日々忘れずに行動していきたい。
- ・「どんな授業を目指すのか」という根本的な問いから始まり、子どもが自ら学びたいような課題設定を行うことの大切さを学んだ。



### 令和7年度授業研究会会場校 ～学びの機会をありがとうございました～

鶴岡市立櫛引東小学校 庄内町立余目第四小学校  
 酒田市立亀ヶ崎小学校 酒田市立第三中学校 酒田市立第六中学校  
 酒田市立鳥海八幡中学校 遊佐町立遊佐小学校

### 教職2年次・3年次フォローアップ研修

- ・授業を核に学級、学年、教科経営を行う力を身につけ、こども一人ひとりの力を伸ばしていけるように取り組んでいきたい。
- ・現在関わっているこどものことを考えながら講義を聞く中で、こどもたちの本当の困り感に気づくことが大切だと思った。



研修をきっかけに、新たな知識や疑問、次への意欲を持った先生方の姿がありました。各校のバックアップ、ありがとうございました。引き続き、校内での研修をよろしくお願いいたします。

## 計画指導訪問校に学ぶ Vol. I

【鶴岡市立朝陽第二小学校】 (校長 粕谷 温子) 7月17日(木)

学校教育目標 「たくましく(自律)思いやりがあり(共生)しなやかな(創造)子どもの育成」

- (1) 子どもを真ん中にして学校・家庭・地域が「信頼のトライアングル」を大切にしており、多方面において協力を得ながら学校運営を行っている。
- (2) 上学年において教科担任制(国・算含め)を行っており、少ない授業準備で授業の質を向上させるとともに、多方面から子どもを見取ることができている。
- (3) 学校教育目標の具現に向けて、確かな取り組みが行われている。特に、チームワークのよさ・同僚性が感じられ、課題を共有して同じ方向にベクトルが向いている。

【酒田市立南平田小学校】 (校長 木村 克範) 9月16日(火)

学校教育目標 「自律 貢献 志 ～つなぐ つながる 学び・社会自分自身～」

- (1) 中学校と学校教育目標を揃え小中連携を図るとともに、学校教育目標の具現に向けて、特別支援部を含めた各支援部がベクトルをそろえ、職員が協働してPDCAを回している。
- (2) R7年度は「体験」「探究」「尊重」「協働」の4つのチャレンジを実践しており、特に30代の教員を中心に意欲的に授業づくりやたてわり活動の充実に取り組んでいる。
- (3) 日々の児童の様子をこまめにHPで発信したり地域から手厚い協力を得たりするなど、双方向で開かれた学校づくりの具現化を図っており、児童が本物の体験にふれる機会も多い。